

サポカー補助金に関するインターネット上の表示についての調査結果

1. 調査の目的

サポカー補助金（新車・中古車・後付け装置）に関するインターネット上の表示状況について実態把握を実施し、『「サポカー補助金」に関する表示を行う際の留意点について（以下、「留意点」という。）』（本年3月27日公表）に基づく適正な表示が行われているかを確認するとともに、今後の普及活動等の参考とする。

また、留意点で定める「表示が必要と考えられる内容」の表示もれや、消費者に誤認される、また、そのおそれのある表示が見られた場合には、必要に応じて個別事業者に対して改善指導（要請）等を実施する。

2. 調査期間

2020年4月1日から2020年4月27日

3. 調査対象

- 1) 国産乗用車メーカー及びインポーター（15社）については、各社のWebサイト内でサポカー補助金について告知したページ
- 2) 1) 以外の事業者については、Googleの「画像検索」を活用し、「サポカー」、「補助金」などの用語を用いて検索を行いヒットした画像を抽出（585社）、その中から、ニュースサイトや自治体のサイト、メーカー及びインポーターサイトへのリンクを除いた、以下の合計376社のWebサイト内でサポカー補助金について告知したページ
 - ①メーカー系列ディーラー：290社
 - ②メーカー系列以外の販売店（主に中古車を販売する販売店）：70社
 - ③自動車用品販売店：15社
 - ④販促ツール等を販売する事業者：1社

4. 調査内容

- 1) 「留意点」で定める「表示が必要と考えられる内容」のうち、以下の表示の有無
 - ①補助金の対象者（対象年齢）
 - ②補助金の対象車（搭載機能（装置））
 - ③補助金の額の対象（登録車、軽自動車の別）等
 - ④その他条件等
 - ・登録または届出日より1年以上の間、原則として同一の者による使用が求められる旨、及び、補助金の返納が必要となる場合がある等の条件がある旨
 - ・自家用自動車については、補助金の交付は、1人につき1台限りとなる旨、及び、法人名義での購入は補助の対象外となる旨
- 2) 補助金の対象者や対象車、補助金の額の対象等について、消費者に誤認される、また、そのおそれのある表示の有無

5. 調査結果

1) 国産乗用車メーカー及びインポーター（調査対象：15社）

概ね「留意点」に基づく表示が行われていたが、2社において、「表示が必要と考えられる内容」の表示もれ等が見られた

<表示例1>

サポカー補助金

「サポカー補助金」とは、安全運転サポート車の導入等を促進する補助金で、高齢運転者に対する安全対策を目的として、経産省が実施する制度です。自家用車の場合は、個人名義で購入した満65歳以上の運転者を対象とし、当社の新車の場合は6万円が補助されます。

対象車両

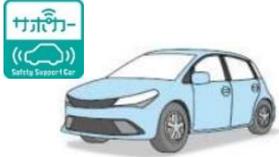


問題点

◇留意点で定める補助金の対象車（搭載機能）やその他条件等に関する表示がない

<表示例2>

サポカー(セーフティ・サポートカー)



高齢運転者を含めた全てのドライバーの交通事故対策の一環として、自動ブレーキなどを備えた車両、サポカー（セーフティ・サポートカー）機能を装備した当社の車両は、毎日の運転をサポートします。

◆サポカー補助金制度
満65歳以上の方がサポカーを購入した際に、補助金が交付される制度です。当社の車両では最大6万円。詳しくは店舗までお問合せください。

※ サポカー補助金について

- 令和2年度中に満65歳以上となる高齢運転者が対象（令和3年4月1日に65歳の誕生日を迎える方も対象）となります。ただし、令和2年度中に満65歳となる方については、令和2年3月31日までに登録（届出）または設置された場合は対象外となります。
- 補助金の対象は、審査委員会の審査を経た車両で、「衝突被害軽減ブレーキ」及び「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」搭載車となります。
- 補助金の対象期間は、2019年12月23日以降、新車新規登録（届出）された自動車対象となります。
- 補助金の交付を受けた新車は、新車新規登録（届出）日より1年以上の間、原則として同一の者による使用（車検証上の使用者名義を変更しないこと）が必要となります。また、補助金の返納が必要となる場合がある等、条件があります。
- 自家用自動車の補助金の交付は、1人につき1台限りで、法人名義での購入は対象外となります。
- 事業用自動車については、法人名義の場合、65歳以上の高齢運転者の人数までが上限となります。 ●申請総額が予算額を超過し次第、終了となります。

★制度の詳細や申請手続き等については、経済産業省や国土交通省、次世代自動車振興センターのホームページをご確認ください。

問題点

- ①サポカーについて紹介した箇所において、補助金の対象車（搭載機能）は、衝突被害軽減ブレーキ搭載車のうち「対歩行者」機能を搭載した車両である旨の表示がないため、衝突被害軽減ブレーキ搭載車はすべて補助金対象車であるかのよう
に誤認されるおそれがある
- ②「自動ブレーキ」との用語を使用している

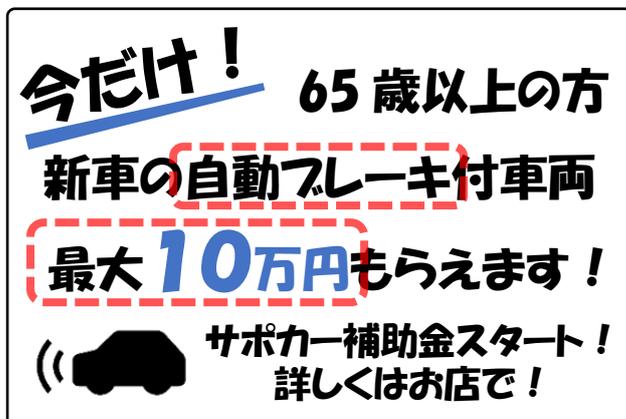
2) メーカー系列ディーラー（調査対象：290社）

全てのサイトで「留意点」に基づく表示が行われていた

- 3) メーカー系列以外の販売店（主に中古車を販売する販売店）（調査対象：70社）
概ね「留意点」に基づく表示が行われていたが、9社において、「表示が必要と考えられる内容」の表示もれ等が見られた

<表示例3>

※ホームページに掲載した画像の一部（リンク先はなし）

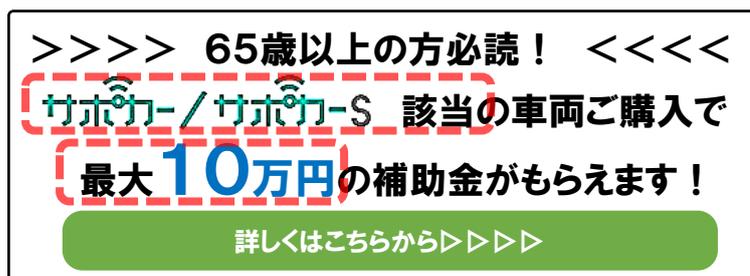


問題点

- ①補助金の対象車（搭載機能）は、衝突被害軽減ブレーキ搭載車のうち「対歩行者」機能を搭載した車両である旨の表示がないため、衝突被害軽減ブレーキ搭載車はすべて補助金対象車であるかのように誤認されるおそれがある
- ②最大10万円の対象は「新車の登録車」である旨の表示がない
- ③その他条件等に関する表示がない
- ④「自動ブレーキ」との用語を使用している

<表示例4>

※ホームページに掲載した画像の一部（リンク先はあり）



※リンク先において「留意点」で定める「表示が必要と考えられる内容」の表示はなし

問題点

- ①補助金の対象車（搭載機能）に関する表示がないため、「サポカー」か「サポカー-S」に該当する車両はすべて補助金対象車であるかのように誤認されるおそれがある
- ②最大10万円の対象は「新車の登録車」である旨の表示がない
- ③リンク（ページ遷移）先で、留意点で定める補助金の対象車（搭載機能）やその他条件等に関する表示がない

<表示例5>

※バナー表示（リンク先はあり）

サポカー補助金スタート！ 65歳以上の方が対象！

（（））

補助金額 **新車購入▶最大10万円**
中古車購入▶最大4万円

詳細はクリック！

※リンク先において「留意点」で定める「表示が必要と考えられる内容」の表示はなし

問題点

- ①補助金の対象車（搭載機能）に関する表示がないため、「サポカー」に該当する車両はすべて補助金対象車であるかのように誤認されるおそれがある
- ②最大10万円の対象は「登録車」である旨の表示がない
- ③リンク（ページ遷移）先で、留意点で定める補助金の対象車（搭載機能）やその他条件等に関する表示がない

<表示例6>

※ホームページに掲載した画像の一部（リンク先はなし）

65歳以上の方が対象！ 詳細は店頭にて！

サポカー補助金 最大10万円！

①**衝突被害軽減ブレーキ**
②**ペダル踏み間違い急発進等抑制装置** （（））

①+②**搭載車**
登録車：10万円 軽自動車：7万円 中古車：4万円

①**のみ搭載車**
登録車：6万円 軽自動車：3万円 中古車：4万円

問題点

- ①補助金の対象車（搭載機能）は、衝突被害軽減ブレーキ搭載車のうち「対歩行者」機能を搭載した車両である旨の表示がないため、衝突被害軽減ブレーキ搭載車はすべて補助金対象車であるかのように誤認されるおそれがある
- ②その他条件等に関する表示がない

5) 自動車用品販売店（調査対象：15社）

概ね「留意点」に基づく表示が行われていたが、1社において、「補助金の対象者」など、「表示が必要と考えられる内容」の表示もれ等が見られた

<表示例7>

※ホームページに掲載した画像の一部（リンク先はなし）

踏み間違い事故の防止に！

助太刀君β



〔急発進を抑制する装置〕

助太刀君β

50,000円(税込)のところ

▼

補助金適用で

30,000円(税込)

問題点

- ①補助金対象者について、年齢が「満65歳以上」である旨の表示がないため、年齢に制限がないかのように誤認されるおそれがある
- ②その他条件等に関する表示がない

6) ノボリやプライスボード等の販促ツールを制作・販売する事業者

1社において、「表示が必要と考えられる内容」の表示もれ、また、中古車のプライスボードに「最大10万円」と表示する等の事例が見られた

<表示例8>

※ホームページに掲載した画像の一部（リンク先等はなし）

65歳以上の方
サポカー補助金

最大10万円

車名 スカーレット 型式 2000 4D7 GL 4AT 平成 30年 12月	148.8万円 <small>【消費税込み】</small>
公取モーターズ	
●定期点検整備の有無 ✓定期点検整備あり	●保証の有無 ✓保証付
●車検の有無 ✓車検済	●車検の有無 ✓車検済

<当社おススメの車両です!>



展示車（中古車）

問題点

- ①中古車（軽自動車）に、「サポカー補助金最大10万円」と表示しているため、当該車両が補助金10万円の対象であるかのように誤認されるおそれがある
- ②その他条件等に関する表示がない

6. 改善指導（要請）及び周知活動が必要と考えられる主なポイント

- 1) 補助金の対象車（搭載機能）について、サポカーに該当する車両が全て補助金対象車であるかのように誤認されることのないよう、衝突被害軽減ブレーキ搭載車のうち「対歩行者」である旨を表示すること
- 2) 補助金が最大10万円の対象は「新車の登録車」である旨を表示すること
- 3) 対象期間やその他の申請条件等、留意点で定める「表示が必要と考えられる内容」を表示すること（バナー等表示スペースが小さい場合は、リンク先を確認するよう促す対応を行った上で、リンク先等で表示すること）

7. 今後の対応

- 1) 問題となる表示を行っていた事業者に対しては、公取協から直接、又は、関係団体等を通じて、個別に改善指導（要請）を実施
- 2) 本調査結果を踏まえ、AFTC INFORMATION を作成するとともに、サポカー補助金に関する表示を行う際の留意点について、関係団体やホームページ等を通じ再度全般的な周知活動を実施